

新春と島根で迎えてみませんか

「神話の国」といわれるだけあり、「出雲国風土記」に登場する神々が祭られた歴史ある神社が数多く点在しています。神々の懐に抱かれた古代出雲国の歴史を感じる、そんな島根に初詣はいかがですか。



松江
Matsue



国引き、国譲り神話の地
海からの日の出が神秘的

美保神社(松江市美保町)

全国各地にある「えびす社」の総本社である美保神社。水産・海運に携わる人の商売繁盛などにご利益があると信仰を集めてきた神社です。本殿は「美保造り」といわれる独特の造りで、国の重要文化財にも指定されており一見の価値があります。美保町は三方を海に囲まれた町で、古くは北前船が寄航する賑やかな港町でした。当時の面影を残す場所が神社近くにあります。青石畳通りです。雨に濡れると敷かれた石が青く光ることからそう呼ばれています。船が行き来していた頃は、廻船問屋や旅館などが軒を連ねていた通りで、今でも旧家や老舗旅館がありしつとりとした佇まい。耳を澄ませば、行き交う人たちのざわめきが聞こえてきそう。また、日の出を楽しむことができるビューポイントもあります。港に近い丘の上に建つ「なべや別館」はロケーションが最高。特に露天風呂から見る日の出は、神々しいほどに美しい輝きを放ちます。

しまねの隠れた逸品「島根和牛」を鍋の王様“すき焼き”で舌鼓

寒い季節の定番は鍋料理。その中でも牛肉の美味しさをじっくりと堪能できるのが“すき焼き”です。各地に有名なブランド牛がありますが、島根県にも極上の逸品があります。「しまね和牛」は、「しまね生まれ、しまね育ち」にこだわり、風味豊かな最高の肉質を誇ります。今では、潮風牛(隠岐牛)、奥出雲牛、大國牛など、産地の特色を生かしたブランド牛も注目されています。さっと煮込まれた牛肉の何ともいえない芳しい匂いに食欲がそそられます。



国宝級の神社から縁結びスポットなどたくさんあります島根の初詣スポット

松江
Matsue

大田
Oda



神魂(かもす)神社(松江市)

イザナミノミコトを主祭神とする神魂神社。本殿の大社造りは、現存するものの中では最も古く、国宝にも指定されている格式の高い古社です。“大庭の大宮さん”と呼ばれ、地元の人々に親しまれています。



熊野大社(松江市)

山間の豊かな自然に包まれた熊野大社は、山の精霊に守られているかのような趣がある古社。素戔鳴尊(スサノノミコト)が祭主であり、「日本書紀」には、出雲国造りの際に“神の宮”として造られたと記されています。出雲大社と並ぶ格式の高い神社で、「火の神」としても信仰を集めています。



八重垣神社(松江市)

縁結びの神社として知られている八重垣神社。素戔鳴尊(スサノノミコト)が大岐大蛇(ヤマタノオロチ)から稲田姫命を守り夫婦となったのが、この地といわれています。境内の奥にある「鏡の池」は稲田姫命が姿を映したといわれ、縁結び・心願成就を占うことができるスポットとして人気。専用の紙に硬貨を乗せ、恋愛成就を祈る女性たちの姿が見られます。



物部神社(大田市)

緑深い鎮守の森に抱かれた物部神社。祭神である宇摩志麻遲命(ウマシマジノミコト)が鶴に乗って天から降臨したという伝説があり、森の中には御神墓であるといわれる古墳があります。古くは文武両道の神、勝運の神として崇められていましたが、現在では鎮魂祈願に多くの人々が訪れています。

大願成就を願い初詣 冬景色の津和野の風情と郷土の味を楽しむ

太鼓谷稲成神社(鹿足郡津和野町)

日本五大稲荷の一つである太鼓谷稲成。多くの稲荷神社の中でも「稲に成る」と記すのは珍しく、大願成就の祈りが込められているといわれています。商売繁盛・開運厄除の神として、正月には毎年多くの初詣客で賑いをみせます。参道には朱塗りの鳥居が列を成し、まるでトンネルのよう。境内からは津和野の町が望め、冬の澄んだ空気が津和野の町並みをさらに美しく映し出しています。津和野の名物料理といえば「うすめ飯」。ごはんは地元の旬の食材をしのばせ、だしを掛けて食べる古くからの郷土料理です。冬場はセリが入り独特の香りを楽しむことができます。懐かしい素朴な料理は、美味しいものを食べ尽くした人が迎り着くもっとも贅沢な食べ物かもしれません。また、近くの道の駅には、「津和野温泉ごみの里」があり、冷えた体を温めることもできます。



島根の旬に出会う旅。



Shimane
Bimi Kiko

